



希望ヶ丘



○ 令和7年（2025年）がスタート

今年の干支は乙巳（きのとみ）です。



60年周期の干支の中で42番目に位置し、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされているそうです。

今年もどのような1年になるのか楽しみです。

○ 避難訓練とジュニア防災士認定証授与（12月20日）

2024年は能登地震から始まりました。本校で実施した「今年の一文字」の中にも「震」という文字を書いている生徒が多くみられました。12月1日実施された地域の防災訓練では、多くの生徒から参加確認票の提出があり、積極的に参加する様子が伺えました。

さて、12月20日に、本校でも震度5の地震発生を想定した避難訓練を実施しました。北校舎2階の2年6組が一番に運動場に駆け出してきました。地震発生から運動場に避難し、人数確認をするまでの時間が、前回訓練よりも1分ほど短縮されていました。

学校長からは「地震発生時、中学生は地域の大きな戦力です。なぜなら避難訓練を積んでいて、大人に引けを取らないくらい体力や判断力を持っているからです。」と即戦力としての期待の言葉が掛けられました。



避難訓練後、1年生は運動場に残り、各クラスの学級委員が、ジュニア防災士の認定証を代表として受け取りました。これは上級生が宿泊行事を行っていた5月に1年生の学年行事として、生徒が活動した証しです。このときに学んだことを生かして、以前地元で火災が起きた際、避難のために素早く荷物をまとめるなどの対応をした生徒の話が、学年主任から紹介されました。素晴らしい成果です。

○ 第3ステージ 『高めあい 感謝する』

本校では3つのステージを設けて取り組んでいます。第1ステージ「仲間作り」、第2ステージ「協力・団結」に続いて、第3ステージは「高め合い 感謝する」ステージです。「感謝する」は、学校教育目標「幸せに気付く生徒」を達成するための4つの因子（キーワード：ありのまま・感謝する・やってみる・前を向く）の一つです。各年度の有終の美を飾るステージとして、次年度につなげていくために「感謝する」気持ちを大切に、互いに高め合おうという願いが込められています。令和6年度の授業日数も50日ほどとなりました。この残り50日で、お互いを高め合い感謝する活動が、1月にもいくつかあるので紹介します。

○ 自分で作るお弁当の日（1月14日）

今年度2回目の「自分で作るお弁当の日」があります。2007年に「食育」が提唱され、健全な食生活を実践できる力を育むことが重視されるようになりました。特に、「お弁当作りには学びがいっぱい」というキャッチフレーズのもと、「こどもが作るお弁当の日」を教育活動に取り入れている教育委員会が増えてきています。

フライの洋食文化が花開いた東京都足立区や、餃子のまち宇都宮では、お弁当づくりのときに、次の4つのことを学んでいこうと紹介しています。

1 食べ物に関心をもつ

- ・旬の食べ物やその食べ物を使った料理が分かる。
- ・食べ物の品質の良否を見分け、選択する。

2 感謝の心をもつ

- ・生産者や自然の恵みに感謝し、無駄なく食材を使い切る。

3 楽しく料理をする

- ・1食分を調理する。
- ・環境を考えて調理する。
- ・お弁当に入れる料理に使う食材の分量が分かる。

4 健康な体を作る

- ・数多くの食材を使えるよう工夫しながら、栄養バランスを考えて献立を立てる。

○ 8組合同遠足 三津シーパラダイス（1月17日）

8組では初めての試みとして、今泉小学校と青葉台小学校の特別支援学級のみなさんと一緒に「合同遠足」を企画しました。これは、中1ギャップ（小学生から中学生になるときに加わる精神的なストレス）を緩和し、スムーズに中学校生活に順応するための小中連携の取組となります。

吉原二中学生がお兄さん・お姉さん役です。リーダーとして小学生のみなさんをリードして、楽しい活動ができることを期待しています。

○ 3年面接指導（1月21日）

3年生の面接練習を1月21日（火）に実施します。今年度はコミュニティスクールを生かして、地域の元教員や市内の退職教員の皆様を講師として呼びます。より実践的な面接練習を実施していただき、本番に備える予定です。

【保護者様へのお願い】

車で送迎するときは、以下の3点をお守りください。

- ① 正門の所で一旦停止して安全を確認する。
- ② 校内は最徐行で走行する。
- ③ 駐車線を守って停車する。

特に、朝はスピードを出して校内に侵入する車が多いようです。事故防止と安心・安全の確保のため、ご協力をお願いします。

文責 教頭 田村 聖一
電話 51-1115